

\*\*\*\*\*  
開講科目名：行政法研究 （2単位）  
開設年次：1年 2年  
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻  
担当者：門脇 美恵  
\*\*\*\*\*

## 《授業の概要》

### 【授業の概要】

わが国において行政活動は「法律による行政の原理」に従い適法に行われるのが原則です。しかし、現実には、ときに違法または不当な行政活動等によって、または適法な行政活動によっても、私たちの権利利益が侵害され、適正な行政運営が損なわれることがあります。そのような場合に国民の権利利益の保護と適正な行政運営を確保するための法は「行政救済法」と総称され、私たちが行政に関する紛争の解決のために用いることができる法です。この授業では、そのような紛争解決の具体的事例である行政救済法の判例を素材とし、行政救済法を構成する諸制度と、その前提とされている行政法の基本概念について学びます。行政救済法の判例を検討するなかで、つど行政法の基本概念に立ち戻りこれを学ぶことによって、一般的には抽象的で理解が難しいと言われる行政法の基本概念の理解が容易になると思います。

### 【質問への対応】

授業時間内またはオフィスアワーにおいて対応します。

### 【授業計画】

- 1 行政法の基本原則、行政法の体系と行政救済法の意義
- 2 国家賠償法制の歴史
- 3 国家賠償法1条(1)「公権力の行使」
- 4 国家賠償法1条(2)「公務員」「職務」
- 5 国家賠償法1条(3)「過失」「違法」
- 6 国家賠償法2条(1)「公の営造物」
- 7 国家賠償法2条(2)「設置又は管理」の「瑕疵」
- 8 損失補償
- 9 復習(1)
- 10 行政不服申立てと行政事件訴訟)～各制度の目的と特徴～
- 11 行政不服申立ての審査の種類とプロセス
- 12 行政事件訴訟の訴訟類型と審理のプロセス
- 13 行政事件訴訟の論点(1)「処分性」
- 14 行政事件訴訟の論点(2)「原告適格」
- 15 復習(2)

＊各自の予習・復習について

授業後には、授業で用いたプリント等を見返しながら、適宜参考書等で興味をもった論点について学習を深めて下さい。各授業の予習・復習に要する時間は、予習1.5時間、復習1時間を目安とします。

### 【評価方法】

授業態度（30%） およびレポート（70%）

## 《テキスト》

授業は配布プリントに基づき進めます。テキストは指定しませんが、必要に応じて下記参考書から自分のレベルにあったものを選んで学習を深めることをお勧めします。

## 《参考書》

【基本書】

初級

- ・石川敏行ほか『はじめての行政法【第4版】』（有斐閣、2018年）

中級～

- ・市橋克哉ほか『アクチュアル行政法【第2版】』（法律文化社、2015年）

【判例】

(初級)

- ・『法律入門 判例まんが本 行政法の判例100』（辰巳法律研究所、2008年）

(中級～)

- 『行政判例百選1・2(第7版)』（有斐閣、2017年）